

# デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.46

2019.6.10 中央社会保険医療協議会（中医協）総会提出資料「妊産婦に対する保健・医療体制の在り方に関する検討会」議論の取りまとめ資料より



## 妊産婦の口腔健康管理

6月10日に厚生労働省が中医協（診療報酬について審議を行う協議会）に示した妊産婦への保健・医療体制のあり方に関する議論の取りまとめから、歯科医療に関する部分をご紹介します。

### ①妊娠中の産婦人科以外の受診状況

妊娠中の産婦人科以外の受診先は①内科、②歯科、③耳鼻咽喉科の順に多く、受診理由は①感染症状、②歯痛・歯ぐきの腫れ等の口腔内の症状、③妊娠前からの持病の順となっている。

妊娠中

#### 産婦人科以外の受診先

- ①内科…………… 50.5%
- ②歯科・歯科口腔外科…… 34.1%
- ③耳鼻咽喉科…………… 22.6%
- ④皮膚科…………… 20.1%
- ⑤眼科…………… 16.7%

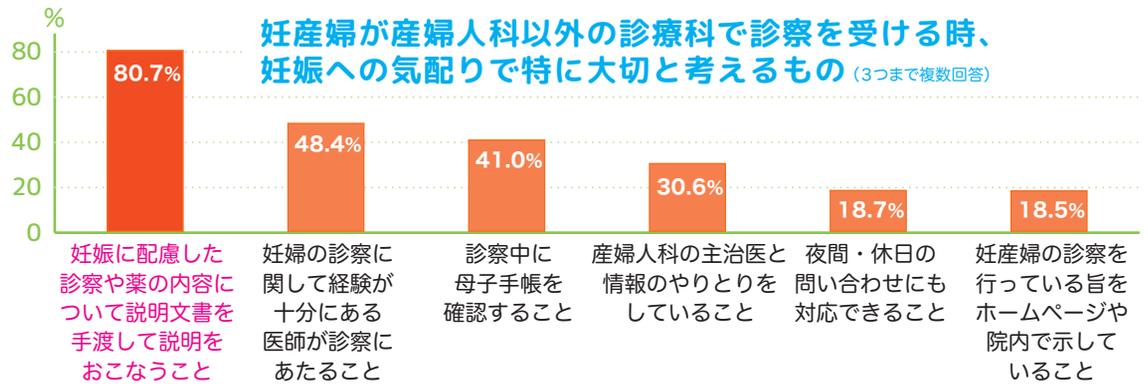
妊娠中

#### 産婦人科以外の診療科を受診した理由

- ①熱、せきなどの感染症状…………… 42.0%
- ②歯痛、歯ぐきの腫れなど口腔内の症状…… 24.0%
- ③妊娠前からの持病…………… 20.9%
- ④発疹など皮膚の症状…………… 15.6%
- ⑤目の充血、かゆみなど目の症状…………… 13.9%  
(コンタクトレンズの処方も含む)

### ②妊産婦への気配り

産婦人科以外にかかった妊産婦のうち、87.9%が「気配りが不十分と感じた経験はない」と回答。また、80.7%が「妊娠に配慮した診察や薬の内容について説明文書を手渡して説明を行うこと」が特に大切と考えている。



DH Pro.セミナー講師  
山崎瑞穂先生による  
コラムのコーナー



## みんなと一緒に歯科衛生士力を高めよう！深めよう！楽しもう！

DH Pro. School (DH Pro.セミナー) は、

- ①講師は現役の歯科衛生士（歯周治療をメインに仕事をしている）がマンツーマンでご指導します！
- ②講師は日本歯周病学会と臨床歯周病学会の両方、もしくはどちらかの認定歯科衛生士を必ず取得しています。
- ③痒い所に手が届くようなスキルをモットーに、出来るだけ分かりやすくレクチャー致します。

そして、セミナーではスケーラーを使いこなせる歯科衛生士を育成しています。

私自身、キャリアが浅かった頃、歯石がそこにあるのに除去できない、信頼してくださっている患者さんに申し訳ないと悩み、スキルアップしたいと常々思っていました。

ハンドスケーラーを切れる様に常に管理しておくは有効かつスムーズな除石に繋がるだけでなく、患者に負担をかけず、オーバーインスツルメンテーションを防ぐこともできます。

そして使える手を丁寧に作り、手先の器用さを養うことで歯科衛生士としての自信に繋げ、歯科衛生士業務全般の底上げができることを願っています。

いよいよ～

6月9日、岡山県保険医協会主催DHPro.セミナー第4期がついに始まりました。

受講生の皆様は歯科衛生士になりたてのホヤホヤさんから、歯科衛生士歴20年間以上の方までの12名。勤務先の院長先生やスタッフの皆さんからの応援を受けて参加されました。

SRPを行うことのできる手、指を作るトレーニング、テストスティックの把持、シャープニング、スケーラーを把持する指、テストスティックの把持、シャープニング石の把持は指の力が必要です。指が痛い！指がつりそう！スケーラーが上手く動かせない！皆さん、肩に力が入り、手首に力が入り、緊張もともなってカチカチになりながらもシャープニング、テストスティックに一生懸命取り組んでおられました。

一生懸命、ひたむきに頑張っている受講生の皆様に感動し、皆様にしっかり寄り添い、人間力、技術、知識を磨き、社会や勤め先や患者様に貢献できる歯科衛生士になって頂きたいと思います。

